

にいはま 環境かわら版

2022年夏
第14号

カーボンニュートラル推進室
電話 65-1284

お待たせしました！ 環境かわら版第14号です。6月の40℃超え、早すぎる梅雨明け、頻繁に流れる線状降水帯発生のニュース、一昔前には考えられないようなことが、当たり前のように起こっています。世界に目を向けても、記録的な猛暑・熱波といったワードが……、この先、どんな速度で地球温暖化が進んでいくのか？ 心配を乗り越えて恐怖すら感じてしまいますね。みんなでこの危機感を共有し、力を合わせて温暖化対策に取り組みましょう。それでは今月号ご覧ください。

環境推進委員会開催 令和4年度環境目標決定！

7月6日、環境推進委員会が開催され、令和4年度の二ームス活動（新居浜市独自の環境マネジメントシステム 詳しくは第9号かわら版をご覧ください）について協議を行いました。二ームスにおける様々な課題やこれまでの指摘事項（マニュアルが難解、環境監査の偏り、目標が施設に限定）を解消するため、全面的にマニュアルを改定し、5年サイクルで全課所室・施設の環境監査を実施するとともに、新たに令和4年度の環境目標を設定しました。その目標がこちらです。

全課所室・・・コピー用紙の使用量を前年度以下に抑制

各施設・・・フロン排出抑制法に基づく第一種特定製品の点検の徹底

エネルギー消費原単位の前年度比1%削減

エネルギー管理標準の年1回以上の点検

なお、7月28日には、全課所室長及び施設長を対象に、令和4年度二ームス活動に関する説明会（コロナ禍ということもあり、ペーパーレスによるオンライン形式）を開催します。まずは、市職員が、率先して省エネ活動に取り組むとともに、全ての課所室・施設で、目標達成できるよう頑張ります。

ちなみに、昨年度の新居浜市が行う全ての事務事業（施設を含む）により排出された温室効果ガスは、38,417t-CO₂で、基準年度（2013年）比で7.7%減でしたが、排出係数の影響もあり、前年度比では14.8%の増でした。

新居浜市地球高温化対策地域協議会総会開催

気候非常事態を宣言！

6月18日、文化センター大ホールにおいて、新居浜市地球高温化対策地域協議会総会が開催されました。昨年、一昨年とコロナ感染拡大に伴い中止を余儀なくされ、3年ぶりの開催となりましたが、約550名（過去最高）の方にご参加いただきました。総会では、

令和4年度事業計画等6議案を審議（承認）した後、越智誠司氏による事例発表「掃除を通して人間を育てる」が行われ、先生の行動によって生徒の心理が変化したことへの驚きや、もっと多方面で周知してほしい等、共感や感動する声が多く聞かれました。また、鳥越俊太郎氏の講演では、軽妙なトークで環境問題をわかりやすく解説してくれました。ただ、一方で、もっと掘り下げた話が聞きたかったとの声も多く聞かれ、環境問題への関心の高さをうかがい知ることができました。



そして、最後にご紹介するのが、市長が行った気候非常事態宣言です。これは、市民・事業者・行政が気候変動への危機感を共有し、全市一丸となって、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進していくために行ったもので、2016年オーストラリア・メルボルンのデアピン市が宣言して以降、世界中で広がりを見せており、日本でも衆参両院で決議するなど、100を超える自治体や議会が宣言していて、愛媛県内では初めてになります。次のページに宣言文全文を掲載していますので、ぜひご覧いただくとともに、みんなで力を合わせて2050年度温室効果ガス排出量実質ゼロを目指しましょう。



世界中で広がりを見せており、日本でも衆参両院で決議するなど、100を超える自治体や議会が宣言していて、愛媛県内では初めてになります。次のページに宣言文全文を掲載していますので、ぜひご覧いただくとともに、みんなで力を合わせて2050年度温室効果ガス排出量実質ゼロを目指しましょう。



新居浜市気候非常事態宣言

2050年度温室効果ガス排出量実質ゼロを目指して

地球温暖化の影響による気候変動は、世界各地で海面水位上昇や森林火災などを発生させ、国内においても、記録的な猛暑や豪雨などによる甚大な被害をもたらすなど、その脅威は年々増加し、日常化しています。気候変動はもはや気候危機といえる状況です。

このような状況に対し、2015年のパリ協定以降、気温上昇を産業革命前よりも1.5℃以下に抑える努力を追求する目標が国際的に共有され、世界各国は、脱炭素社会の実現を目標とする取り組みを推進しています。

私たちが住む新居浜市は、別子銅山とともに発展したまちであるとともに、先人たちによる公害の克服や森林の再生など、環境問題に立ち向かったまちでもあります。現代に生きる私たちは、先人の知恵や精神に倣い、気候変動への対策に注力し、自然環境や生活環境、持続的な社会を次世代に継承する責務があります。

市民、事業者、行政など、あらゆる主体が気候変動への危機感を共有し、全市一丸となって、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進するため、新居浜市は、ここに気候非常事態を宣言し、次の取組を行うことを表明します。

- 1 ライフスタイルの転換、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの活用促進により、2050年度までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します。
- 2 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の普及啓発により、ごみの減量化に取り組めます。
- 3 気候変動による影響を軽減させる適応策に取り組めます。



2022年6月18日

新居浜市長 石川 勝行

【編集後記】

気づいてましたか？ カーボンニュートラル推進室では、職員の気持ちを一つに地球温暖化対策に取り組むため、PRを兼ねて、毎週水曜日に「ストップ温暖化」のロゴが入ったお揃いのポロシャツを着て仕事をしています。ちなみに、ちょうど職員が5人なので、全員色違いにしてゼロカーボンゴレンジャー（古い？ 年がばれる？）を名乗ろうかとも思ったのですが、最後に残った黄色を着ること（キレンジャー）になりそうだったのでやめました。 (K)